

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価報告書の概要

「あいちの教育ビジョン2020」実施状況報告書

☆：28年度実施状況 ★：課題

■ 教育に関する事務の点検・評価報告書について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条では、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことなどが規定されている。

この報告書は、同条に基づき作成するもので、議会へ提出するとともに公表する。

また、「あいちの教育ビジョン2020」（以下「ビジョン」という。）に基づく取組状況の年次報告書としても位置付ける。

2 学識経験者の知見の活用

点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、報告書案に対して、以下の方々から意見をいただいた。

氏名	所属等
中野 靖彦	愛知教育大学名誉教授
柴田 好章	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻教授
白井 正康	愛知教育大学連携業務アドバイザー（前愛知教育大学理事）

（敬称略）

3 点検・評価の手法・構成

- ビジョンで掲げた「『あいちの人間像』を実現する5つの基本的な取組の方向」に沿って5章で構成
- 各章では、本県において平成28年度に積極的に取り組んだ施策を19項目の主要テーマとして設定し、テーマごとに、施策の実施状況、取組の成果、課題、今後の方向性（短期に取り組むもの、長期的に取り組むもの）を記載
- 県教育委員会の取組だけでなく、知事部局、警察、市町村教育委員会や学校の取組もあわせて掲載
- ビジョンで設定した「指標」の達成状況及び個別施策の実施状況は、一覧表形式で整理
- 学識経験者からの意見を巻末に掲載

第1章 個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします

テーマ1 指導改善への取組 **本冊2P**

☆ 小1、小2、中1で少人数学級を継続実施、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、改善指標と方策を提示

★ 少人数教育を継続していくとともに、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを取り入れた教科等の学びによる指導改善の推進が必要

【今後の方向性】

〈短期〉 少人数学級・少人数指導の継続実施、全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえた学力向上に資する取組の普及

〈長期〉 国の教職員定数改善を踏まえた、少人数学級の実施学年の拡大を含めた少人数教育の推進についての検討

テーマ2 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり **本冊6P**

☆ 新たな公立高等学校入学者選抜制度の導入、県立高等学校教育推進実施計画（第1期）の実施

★ 不登校や恵まれない家庭環境にある子どもたちや外国人児童生徒など、多様な学習ニーズに対応できる学校づくりが一層重要

【今後の方向性】

〈短期〉 昼間定時制高校や総合学科のさらなる設置、普通科コース制の新設及び改編、学科改編

〈長期〉 平成31年度以降の第2期実施計画の推進、中等教育学校や併設型中高一貫校についての研究

テーマ3 特別支援教育の充実 **本冊8P**

☆ 特別支援学校の整備<大府もちのき（建設工事）、尾張北東地区（実施設計）>、スクールバスの増車<肢体不自由特別支援学校2校（港、岡崎）>、就労アドバイザー（2名）の配置

★ 特別支援学校の規模の過大化による教室不足の解消、長時間通学の負担軽減、将来自立した社会生活を営むための就労支援の拡充が重要

【今後の方向性】

〈短期〉 新設校整備の推進、スクールバスの計画的な更新、就労アドバイザー増員の検討

〈長期〉 「愛知県特別支援教育推進計画」に基づく着実な取組、人的配置や環境整備の充実に向けた検討

テーマ4 理数教育の推進 **本冊12P**

☆ 少人数指導（主に算数・数学）の実施、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）県立7校における理数教育の展開

★ 子どもたちの知的好奇心や探究心を刺激し、科学的な見方や考え方を養う学びの工夫が必要

【今後の方向性】

〈短期〉 理科支援員配置の拡充に向けた周知、研究指定校などにおけるSTEM教育の先進的取組の普及、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の課題研究をはじめとした探究活動の普及

〈長期〉 算数・数学や理科の観察・実験のための設備や教材の充実、SSHの研究成果の活用によるグローバル・リーダーの育成

テーマ5 日本語指導が必要な子どもたちへの支援 **本冊16P**

- ☆ 日本語教育適応学級担当教員の配置、語学相談員の配置、外国人生徒及び中国帰国生徒等にかかる入学者選抜の実施校の拡大、外国人生徒教育支援員の配置
- ★ 全国最多の外国人児童生徒に対する日本語指導や学校生活等への支援が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉NPOと連携して作成した「日本語初期指導プログラム」の活用、日本語指導に関わる教員の資質向上と人的配置の充実、「日本語学習支援基金」の再造成による日本語教室や外国人学校への支援
- 〈長期〉日本語学習支援の充実、語学相談員の支援体制の構築、日本語指導に関わる諸機関の連携による支援員確保に向けた仕組みづくり

テーマ6 困難を抱えた子どもたちへの支援 **本冊20P**

- ☆ スクールソーシャルワーカーの配置、「地域未来塾」の実施、「放課後子ども教室」の拡充
- ★ 児童生徒の置かれた様々な環境への支援や学習支援が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉優秀なスクールソーシャルワーカーの人材確保と資質向上、スクールソーシャルワーカーと教員との連携体制の構築、「地域未来塾」の開設に向けた啓発
- 〈長期〉「地域未来塾」の内容の充実、全小学校区における「放課後子ども教室」の実施及び共通プログラムの実施

第2章 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます**テーマ7 モラルの向上** **本冊26P**

- ☆ 体験活動・地域貢献活動の実施、道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」による道徳教育の普及啓発、ネットパトロール事業の実施、主権者教育の事業実践例をまとめた報告書の作成
- ★ 「特別の教科 道徳」の実施に伴う授業改善、人権教育・啓発の推進、情報モラルを含めた規範意識の向上、高等学校での主権者教育の取組が重要

【今後の方向性】

- 〈短期〉体験活動の実践による自己肯定感の育成、人権教育の研修内容充実、家庭・地域と協働した情報モラル教育の推進、主権者教育における教員の指導力向上
- 〈長期〉家庭・地域・学校が連携した道徳教育、人権教育とその啓発、主権者教育のより一層の充実

テーマ8 いじめ・不登校等への対応 **本冊32P**

- ☆ スクールカウンセラーの設置、スクールソーシャルワーカーの設置、いじめ電話相談事業の継続実施、ネットパトロール事業の継続実施、校内生徒指導体制の充実、警察等連携機関との連携強化
- ★ いじめの未然防止・早期発見・早期対応、小・中学校では過去最多となっている不登校児童生徒への対応が重要

【今後の方向性】

- 〈短期〉「学校いじめ防止基本方針」の見直し、生徒指導体制の充実や関係機関との連携強化、「いじめ対応支援チーム」による市町村への支援の継続推進、いじめ不登校の未然防止強化
- 〈長期〉スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの有効活用の推進、関係機関と連携して取り組む体制の整備・充実

第3章 健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます**テーマ9 家庭教育・子育ての支援** **本冊38P**

- ☆ 「親の学び」学習プログラムを活用した家庭教育研修会の実施、「あいっこ家庭教育応援企業」の拡充、放課後子ども教室の拡充
- ★ 家庭や地域の教育力を高めること、子育てに対する支援を充実させることが必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉家庭教育研修会の講師の育成、保護者へのあらゆる機会を通じた働きかけ、放課後児童クラブと放課後子ども教室との共通プログラムの実施に向けた働きかけ
- 〈長期〉家庭教育支援の充実、全小学校区における放課後子ども教室の実施及び共通プログラムの実施

テーマ10 幼児教育の充実 **本冊40P**

- ☆ 幼児教育研究協議会での研究協議の実施、研修の充実
- ★ 幼児教育と小学校教育を円滑に接続していくため、すべての幼児教育機関において、質の高い幼児教育を展開し、小学校との連携を強化していくことが必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉新規採用教員研修・10年経験者研修の在り方についての検討、幼児教育研究協議会における実践事例を中心とした研究協議の実施
- 〈長期〉研修の充実による保育者の実践力向上、家庭・地域・小学校との更なる連携の推進

テーマ11 健康教育・食育・安全教育の推進 **本冊42P**

- ☆ 健康教育の推進に向けた養護教諭の研究協議の実施・教職員研修の実施、防災教育マニュアルの作成、家庭・地域・学校が連携した健康教育の実施
- ★ 家庭・地域・学校が連携した健康教育、防災教育マニュアルを活用した体系的な防災教育の推進が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉薬物乱用防止教育、自殺予防教育、食物アレルギー対応、がん教育の推進など、喫緊の健康課題解決に向けての取組の推進、学校における食に関する指導の組織的な実践、防災教育マニュアルの普及、啓発
- 〈長期〉学校保健の核となる教員育成の検討、栄養教諭の配置拡大、幼稚園・保育所から大学等までの食育の継続指導体制づくりの検討、系統的・体系的な防災教育のカリキュラムの開発、キャリアステージに応じた防災教育研修の検討

テーマ12 学校体育の充実 **本冊48P**

- ☆ 「運動好きな子どもを増やせる」授業づくりの研究、中学生向けの「体力向上運動プログラム」の開発、医・科学的知見を加えた運動部活動指導の研究、体力づくり推進事業の実施
- ★ 学校教育活動全体を通じた体力づくりの推進が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉体力向上運動プログラムの普及啓発の推進、外部指導者の活用促進、体力づくり優良校や体力テスト優良児童生徒の顕彰
- 〈長期〉体力向上運動プログラムの普及、活用

第4章 未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します

テーマ13 キャリア教育の推進 **本冊 54P**

- ☆ 小学校における発達段階に応じた体験教育の実施、中学校における職場体験活動、高等学校におけるインターンシップ、特別支援学校における職場見学・就労体験活動・現場実習の実施
- ★ 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた諸能力と、望ましい勤労観・職業観の育成のために、学校段階ごとの系統的な取組が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 小学校における体験活動及び事前・事後指導の充実、中学校における系統的なキャリア教育の展開、高等学校におけるキャリア教育コーディネーターによる普通科・総合学科へのキャリア教育の充実、特別支援学校における実習先の拡大や就業率の向上を目指した就労アドバイザーの配置
- 〈長期〉 小・中・高等学校における地域や産業界、関係機関とのさらなる連携、特別支援学校における新たな就労支援システムの構築

テーマ14 グローバル化への対応 **本冊 58P**

- ☆ 「ユネスコスクール交流会」の開催、あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業の実施、「イングリッシュキャンプ in あいち」の開催
- ★ 主体性や積極性、課題を発見し解決する力、チャレンジ精神、英語を始めとした語学力など、グローバル社会で必要となる力を発達段階に応じて育成することが必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 ユネスコスクール支援会議の設置、英語教育指導者研修の実施、ハブスクールでの取組の成果を普及・還元、「イングリッシュキャンプ」の内容の充実、小・中学校における英語科の指導と適切な評価の在り方の研究
- 〈長期〉 異文化を受け入れる精神性、異文化の中でたくましく生き抜く力、自国の文化を理解した上で対等に語り合うことのできる力を身に付けた人材の育成

テーマ15 伝統文化・文化財の継承と新たな文化の創造 **本冊 62P**

- ☆ あいち山車まつり活性化事業の実施、清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備、朝日遺跡魅力発信事業の実施、アートフェスタの開催
- ★ 地域に根ざした様々な祭りや民俗芸能の魅力を広く県民に発信し、伝統文化を尊重する気運を醸成していくこと、史跡貝殻山貝塚を含む朝日遺跡を適切に保存し、広く公開・活用していくことが必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 愛知の山車文化の魅力発信と気運高揚、朝日遺跡の整備計画の具体化と魅力発信
- 〈長期〉 山車まつりを始めとした本県の多様な伝統文化の県民への普及・啓発、清洲貝殻山貝塚資料館の平成32年秋の開館に向けた計画的な整備、文化財の適切な保存・活用

テーマ16 生涯学習・スポーツの推進 **本冊 66P**

- ☆ 生涯学習推進計画の改訂に向けた検討、「学びネットあいち」の運営、愛知県子ども読書活動推進大会の開催、子どもスポーツふれあい事業の実施、東京オリンピック・パラリンピック強化選手の競技力の強化
- ★ 県民がより豊かで充実した人生を送るために、生涯にわたる自発的・主体的に学び続けることができ、学んだ成果を様々な場面で生かすことができる活動の場が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 生涯学習推進計画の改訂、「学びネットあいち」の一層の充実、子どもスポーツふれあい事業の継続的な開催、家庭で楽しめるスポーツイベントの計画
- 〈長期〉 市町村等関係機関と連携した生涯学習施策の推進、次期子ども読書活動推進計画の検討、生涯スポーツ社会の実現

第5章 学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます

☆：28年度実施状況 ★：課題

テーマ17 教員の資質能力の向上・多忙化解消への支援と開かれた学校づくりへの取組 **本冊 72P**

- ☆ 教育研究リーダー養成研修の実施、教員の多忙化解消に向けた取組の検討とプランの策定、地域学校協働活動推進体制づくりへの支援
- ★ 教員自身が生涯にわたって資質能力を高め、意欲とやりがいをもって、健康で充実して働き続けるためには、本来的な業務に専念できる環境づくりの推進、地域全体で子どもたちの成長を支える体制の整備が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 地域の実情に応じた資質向上に関する指標・研修計画の策定、教員の多忙化解消プランの具体的取組の進捗状況の点検と成果の普及、地域学校協働本部推進会議の開催
- 〈長期〉 本県の実情に応じた人材育成、教員の多忙化解消プランに基づいた学校の組織体制の拡充、学校を核とした地域の活性化

テーマ18 学校施設の耐震化・老朽化対策 **本冊 76P**

- ☆ 県立学校における耐震改修工事や体育館吊り天井の落下防止対策工事の実施、小中学校における耐震化推進に関する国への要望の実施、県立学校施設の長寿命化計画策定に関する基本方針の策定
- ★ 非構造部材、特に体育館以外の吊り天井の落下防止対策、中長期的に建物の老朽化対策に取り組んでいくことが必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 体育館以外の吊り天井耐震対策の着手、学校施設長寿命化計画の策定
- 〈長期〉 県立学校施設の長寿命化計画に基づき中長期の老朽化対策の実施

テーマ19 大学との連携と私立学校の振興 **本冊 80P**

- ☆ 「あいちの学校連携ネット」による情報発信、大学・企業と連携したスポーツ事業の実施、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の推進、私立学校設置者への補助の実施、私立学校に通う保護者負担の軽減実施
- ★ 高大連携による魅力的な教育活動の推進、大学と小・中学校との組織的な連携推進、愛知の公教育で重要な役割を担っている私立学校の振興が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 「あいちの学校連携ネット」の運用、大学や企業と連携した体育・スポーツ振興に関する県独自事業の検討、高大接続のあり方を含む研究成果の普及、公私のあり方についての大局的な意見交換
- 〈長期〉 「あいちの学校連携ネット」の充実に向けた検討、魅力ある県立高等学校づくりの推進